

FirstClass 16.1 日本語版

クライアントのインストールと設定方法

●クライアントの動作環境

■FirstClass 16.1 日本語版クライアントの動作環境 (Windows)

OS	Microsoft Windows 10 シリーズ Microsoft Windows 8.1 シリーズ Microsoft Windows 8 シリーズ Microsoft Windows 7 シリーズ Microsoft Windows Server 2012 シリーズ Microsoft Windows Server 2008 シリーズ ※Microsoft Windows 2000 シリーズでは動作いたしません
CPU	上記 OS が動作するもの
メモリ	最小 1GB の利用可能 RAM
HDD	最小 1GB のディスク空き容量

■FirstClass 16.1 日本語版クライアントの動作環境 (Mac OS X)

OS	Mac OS X (Intel) 10.8~10.11 ※Mac OS X 10.3 以前では動作いたしません PowerPC では動作いたしません
CPU	上記 OS が動作するもの
メモリ	最小 1GB の利用可能 RAM
HDD	最小 1GB のディスク空き容量



FirstClass 16.1 日本語版クライアントをご利用いただくにあたり、上記の仕様を満たしていないコンピュータでの動作に関して、弊社ではサポートしません。

※PowerPC Mac をご利用の場合は FirstClass 11.017 クライアントをご利用ください。

●クライアントソフトのインストール方法 (Windows)

- CD-ROM 内[クライアント]フォルダ内、またはダウンロードしたインストールファイルをダブルクリックしてください (FC16108.msi)。
- インストールソフトが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行なってください。
- 通常はインストールソフトの指定するフォルダ(C:¥Program Files¥FirstClass)にインストールしてください。インストールしたいフォルダを変更する場合は、インストールしたいフォルダを選択し、「OK」をクリックしてインストールを続けてください。
- インストールが終了したら、デスクトップ上のショートカットから FirstClass 16.1 クライアントを起動してください。

FirstClass11.1 以前のクライアントがすでにインストールされている場合のご注意

- 接続する FirstClass サーバのバージョンが 16.1であることを管理者にご確認ください。
- インストール先に FirstClass 11.1 以前のクライアントと同じフォルダを指定すると、FirstClass 16.1 クライアントが上書きされます。

●クライアントソフトのインストール方法 (Mac OS X)

- CD-ROM 内[クライアント]フォルダ内、またはダウンロードしたインストールファイルをダブルクリックしてください (FCC16109Client.dmg)。ディスクイメージがマウントされ、デスクトップに“FirstClassClient16109.pkg”というアイコンが現れます。
- デスクトップの“FirstClassClient16109”をダブルクリックして開き(マウント時に自動的に開く場合もあります)、中の FirstClassClient16.109.pkg アイコンをダブルクリックしてください。
- インストールソフトが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行なってください。
- インストールが終了したら、デスクトップ上のショートカットから FirstClass 16.1 クライアントを起動してください。

FirstClass11.1 以前のクライアントがインストールされている場合のご注意

- 接続する FirstClass サーバのバージョンが 16.1であることを管理者にご確認ください。
- インストールを完了すると、FirstClass 11.1 以前のクライアントは FirstClass 16.1 クライアントで上書きされます。

●FirstClass サーバにログイン

FirstClass 16.1 サーバで、ユーザ登録や各種設定を行うには、クライアントソフトで管理者 (administrator) としてログインします。クライアントソフトを起動し、ログイン画面を表示後、左下の「詳細」をクリックしてください。



詳細情報が表示されますので、以下の指示に従ってください。



※ 画面写真は Windows 版のものですが、Mac OS X でもウインドウやボタンなどのデザインを除き同一の設定内容と動作になります。

ユーザ ID・パスワード

初期状態では、管理者 (administrator) のユーザ ID は admin、パスワードは admin になります。管理者以外のユーザは、管理者が登録したユーザ ID とパスワードになります。



管理者のパスワードは、システムのセキュリティを確保するために、初めてサーバにログインした際、すぐに変更してください。パスワードの変更は、管理者デスクトップのメニューの [ツール] > [パスワードの変更] で、おこなってください。

サーバ

上で選択された接続先に設定されているサーバのドメイン名または IP アドレスが表示されます。

接続先

接続先のサーバのドメイン名 (FQDN。例: hostname.example.jp) またはサーバマシンに割り当てられている IP アドレス (例: 192.168.1.2) を入力してください。FirstClass サーバと同じマシンにインストールされたクライアントの場合には、127.0.0.1 と入力してください。

ログイン方法

[ゲスト] か [登録ユーザ] を選択します。管理者 (administrator) を含む、通常のログインでは、[登録ユーザ] を選んでください。

参照

接続先を複数登録した場合、クリックすると接続先の一覧が表示されます。接続したい接続先を選択してください。

設定

クリックすると「接続の設定」画面 (→P5) を開きます。接続先のサーバの IP アドレスや通信プロトコルを設定します。通常はサーバの IP アドレス以外の設定を変更する必要はまったくありません。

保存

入力したユーザ ID、パスワードを保存します。管理者の ID とパスワードは、セキュリティ上、保存しないことをお勧めします。

ログイン

接続先を選択または入力し、ユーザ ID、パスワードを入力後、ログインボタンをクリックすると FirstClass サーバに接続します。(接続できない場合は、[接続の設定] 画面でサーバ名又は IP アドレス設定を確認してください。)

●接続の設定

- ・ ログイン画面の設定だけでは接続できない場合
- ・ 接続先が複数あり、別々に登録したい場合

上記の場合は、さらに下記の設定をおこなってください。(この設定が必要な場合、一般ユーザも同様の設定が必要になりますので、設定方法を管理者から伝えてください。)

ログイン画面の接続先に接続先の名前(任意)を入力または選択し、設定(→P4)をクリックしてください。



※ 画面写真は Windows 版のものですが、Mac OS X でもウインドウやボタンなどのデザインを除き同一の設定内容と動作になります。



ほとんどの場合、下記のうち「ユーザ ID」「パスワード」「ドメイン名または IP」以外の項目を変更する必要はありません。

- 接続方法** サーバに接続するための接続方法を選択します。通常は「Local Network.FCP」のままでご使用ください。
- 設定** プロトコルの詳細な設定をおこないます。弊社サポートデスク(サーバ管理者の場合)またはサーバ管理者(一般ユーザの場合)の指示があったときにのみ使用します。それ以外の場合では使用しないでください。
- ユーザ ID** サーバにログインするのに必要な ID を入力します。ログイン画面で既に ID を入力している場合は、その ID が表示されます。ID を変更したい場合は、ここに新しい ID を入力してください。
- パスワード** サーバにログインするのに必要なパスワードを入力します。ログイン画面で既にパスワードが入力されている場合は、セキュリティ上、他人にパスワードを見られないようにするために Windows では「*****」、Macintosh では「……」と表示されます。パスワードを変更する場合は、ここにパスワードを入力します。
- ゲストとしてログイン**
このサーバに常にゲストとしてログインする場合は、この項目にチェックを入れます。通常はチェックを入れません。
- 自動的にログイン**
この項目にチェックを入れると、ログイン画面で接続先を指定しただけで、ログインを開始します。通常はチェックを入れません。
- ※ [自動的にログイン] の接続設定を変更するには、サーバにログイン状態で、管理者デスクトップ画面よりメニューの [ツール] > […の接続設定] でおこないます。
- ログイン再試行**
サーバのライセンス制限や回線障害などにより、1 度のアクセスでログインできない場合に、何度自動的にサーバへのログインを試みるかを設定します。通常は 0 にしてください。
- 再試行間隔** サーバへのログイン再試行時に、何秒ごとにログインを再試行するかを設定します。通常は 0 にしてください。
- ドメイン名または IP**
ログイン画面で既に接続先のドメイン名(FQDN)または IP アドレスを入力している場合は、ここに表示されます。サーバのドメイン名や IP アドレスを変更した場合などは、クライアント側でここを変更してください。

- 暗号化** サーバへの接続時の通信の暗号化について、下記の3つの設定が可能です。
- [デフォルト] **接続方法**で設定されている暗号化設定を使用します。通常はこれを選択してください。
 - [暗号化なし] 特に暗号化をしません
 - [通常] FirstClass7.1 互換の暗号化通信を行ないます
 - [高度] 暗号化アルゴリズム CAST-128 準拠の暗号化通信を行ないます
- サーバ ID** 暗号化を [高度] にした時にサーバが持っているサーバ ID が保存されます。
- ユーザ認証時に FirstClass セキュア認証のみを使用**
サーバ側で FirstClass Directory Services を使用している時の認証方法を設定する場合に、ここにチェックを入れます。通常はチェックを入れません。
- FirstClass クライアントソフトウェアのアップデートを拒否**
サーバ側で FirstClass クライアントソフトウェアの最新版が提供されている場合、ログイン時に通知が行なわれてクライアントソフトウェアのアップデートを選択できますが、ここにチェックを入れた場合にはこの通知が表示されなくなります。通常はチェックを入れません。
- 通知の設定** この項目にチェックを入れると、サーバへログインしていない状態でも、サーバにメッセージが届くと通知するようになります。
- 通知パスワード**
[通知の設定] を有効にする場合には、[通知のパスワード] にパスワードを入力します。この場合には**ユーザ ID** も入力しておく必要があります。
- キャッシュのクリア**
設定ファイルからすべてのフォーム、アイコン、画像、サウンドのキャッシュをクリアします。

以上